

整形外科学

責任者・コーディネーター	整形外科学講座 嶋村 正 教授		
担当講座・学科(分野)	整形外科学講座		
担当教員	山崎 健 准教授、西田 淳 講師、古町 克郎 講師、一戸 貞文 准教授、田島 克巳 講師、田島 吾郎 助教、青木 裕 助教、田島 育郎 助教		
対象学年	4	区分・時間数	講義 27 時間
期 間	前期		

・学習方針（講義概要等）

整形外科学は、身体の姿勢および運動器（骨・関節・靭帯、筋・腱・腱鞘、脊髄・馬尾・末梢神経、血管）に関する臨床医学である。すなわち、機能解剖と運動生理の理解に基づいて、運動器の疾病・外傷の病因・病態と診断・治療法を究明する学問である。診断・治療法には放射線学的・病理学的・神経学的・一般外科学的手法も必要であり、新生児から高齢者まで、また、頸部・体幹から上・下肢までと守備範囲は広い。そして治療法も外科療法のみならず、装具療法や運動療法を含む保存療法も大きな比重を占めている。運動器の医学・医療をもって、健康と社会への貢献を目指すことが基本理念である。

・一般目標（GIO）

医師として必要な整形外科学の基本的診察・診断ができるようになるため、診察法・検査法の原理・原則を学び、主要な運動器疾病・外傷の病因・病態に即した保存療法・外科療法を理解し、診察・治療の基本的知識・基礎的技能を身につける。

・到達目標（SBO）

1. 運動器の構造と機能を説明できる。
2. 運動器疾病・外傷の診断・治療における病歴（主訴、現病の経過・治療歴、合併症、既往症、家族歴、職業歴、スポーツ歴、外傷歴など）の重要性を説明できる。
3. 歩行・姿勢・肢位の異常（跛行・変形など）を、疾患・治療法と関連づけて説明できる。
4. 四肢長・周径、関節可動域（ROM）の測定ができる。
5. 神経学的診察法（徒手筋力テスト MMT、表在・深部反射、病的反射、表在・深部知覚検査、症

症状誘発・寛解手技など）の実施と意味の説明ができる。

6. 画像検査（X線、CT、MRI、ECHO、骨シンチ、各種造影など）、電気生理学的検査（筋電図、神経伝導速度など）、関節鏡検査、生検の意義を列挙できる。

7. 運動器疾患の保存療法、外科療法、リハビリテーションの概要を述べるができる。

8. 運動器の外傷に対する診断・治療・管理の概要を述べるができる。

9. 骨・関節・靭帯、筋・腱・腱鞘の炎症の原因・病態（急性、慢性、特殊性）と診断・治療の概要を述べるができる。

10. 新生児・乳児・小児疾患の初期症状、病因・病態、診断・治療の概要を述べるができる。

11. 加齢変性に起因する疾患の病態と治療の概要を述べるができる。

12. 骨・軟部腫瘍の診断・治療・予後の概要を述べるができる。

13. スポーツによる運動器外傷・障害の診断・治療の概要を述べるができる。

14. 職業による運動器傷病の診断・治療の概要を述べるができる。

15. 緊急検査、緊急手術を要する疾病・外傷の診断・治療の概要を述べるができる。

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
5/21	火	1	整形外科科学講座	山崎 健 准教授	総論、運動器疾患の診断と治療
5/21	火	2	整形外科科学講座	山崎 健 准教授	腰椎疾患と外傷
5/28	火	1	整形外科科学講座	山崎 健 准教授	脊柱変形
5/28	火	2	整形外科科学講座	田島 育郎 助教	骨端症、小児整形疾患・先天異常
5/30	木	3	整形外科科学講座	古町 克郎 講師	肘関節・前腕の疾患・外傷
5/31	金	1	整形外科科学講座	古町 克郎 講師	手・手関節の疾患・外傷
6/4	火	1	整形外科科学講座	一戸 貞文 准教授	膝関節・下腿の疾患・外傷
6/4	火	2	整形外科科学講座	一戸 貞文 准教授	足関節・足の疾患・外傷
6/11	火	1	整形外科科学講座	西田 淳 講師	骨腫瘍

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
6/11	火	2	整形外科学講座	西田 淳 講師	軟部腫瘍
6/13	木	3	整形外科学講座	村上 秀樹 講師	頰椎疾患, 脊椎・脊髄損傷
6/13	木	4	整形外科学講座	村上 秀樹 講師	感染性脊椎炎, 脊椎・脊髄腫瘍
6/14	金	1	整形外科学講座	田島 吾郎 助教	スポーツ障害・外傷 総論
6/14	金	2	整形外科学講座	田島 吾郎 助教	スポーツ障害・外傷 各論
6/18	火	1	整形外科学講座	西田 淳 講師	肩甲骨・肩関節・上腕の疾患・外傷
6/18	火	2	整形外科学講座	青木 裕 助教	骨盤・股関節・大腿の疾患・外傷
6/21	金	1	整形外科学講座	安藤 貴信 助教	関節リウマチと類似疾患
6/21	金	2	整形外科学講座	田島 克巳 講師	代謝性骨疾患、感染性疾患

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	標準整形外科学 11 版	中村利孝 他編	医学書院	2011
参	整形外科診断学 改訂 3 版	辻陽雄, 高橋栄明 編	金原出版	1999
参	EXPERT 膠原病・リウマチ 改訂 2 版	住田孝之 編	診断と治療社	2006
参	実践アトラスでよくわかるスポーツ外傷・障害診療マニュアル	青木治人 編	全日本病院出版会	2005

・成績評価方法

筆記試験 80%、出席点 20%、合計が 60%以上を合格とする。
再試験は、筆記 80%、レポートまたは面接点 20%とする（再試験においても合計 60%以上を合格とする）。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	スキャナ透過原稿ユニット (ES-10000G)	1	学生講義用
講義	モノクロ複合機 (MF6570)	1	学生講義資料
講義	カラーレーザープリンター (LBP5900SE)	1	学生講義資料
講義	ノートパソコン一式 (MB062J/A)	1	学生講義用

・特記事項・その他

講義予定日時 平成 25 年 5 月 21 日 1 時限

講義担当者：山崎 健

講義タイトル 整形外科学総論

目標：整形外科における身体診察法、創傷処置の基本、骨折の総論、整形外科特有の治療：装具、義手、義足等を理解する。

必要な予備知識

1. 骨、関節、筋、靭帯の解剖学
2. 骨の構造、生理、生化学
3. 関節の構造と生化学
4. 関節の病態生理
5. 骨・軟骨の損傷修復と再生
6. 筋・神経の構造・整理・生化学

講義内容

1. 診療の基本：基本的身体診察法について：徒手筋力テスト、関節可動域の測定法、四肢長の計測法、各種症状誘発テストの理論と実際
2. 治療法：保存療法：整形外科特有の治療：装具、義肢、義足、手術療法の基本
3. 各種整形外科疾患のアウトラインと診察法を概説
 - 1) 骨・軟部組織・関節の感染症
 - 2) 関節リウマチと類似疾患
 - 3) 慢性関節疾患（退行性、代謝性）
 - 4) 代謝性疾患
 - 5) 神経疾患
 - 6) 骨腫瘍・軟部腫瘍
 - 7) 先天性疾患
 - 8) その他

国家試験項目分類：必修 7-I-8~11,8-J-1~3,12-J-4~5,13-A-1~2,総論VI9-G-1~4,9-L-1~3,9-N-1~7,9-O-1~3,

講義予定日時 平成 25 年 5 月 21 日 2 時限

講義担当者：山崎 健

講義タイトル 腰椎疾患の病態と治療

目標：腰椎における腰痛・下肢痛を主症状とする腰椎疾患の病態と治療を理解する。

必要な予備知識

1. 腰椎の機能解剖（椎体、椎弓根、椎弓、椎間関節など）
2. 椎間板の構造、生理、
3. 神経症状についての基礎知識（索路症状、髄節症状、神経根症状など）

講義内容

1. 腰痛・下肢痛の診察法：問診、理学所見（視診、脊柱所見、神経症状誘発試験）
2. 神経学的所見の見方、誘発試験（ラゼーグ試験等）の意義
3. 画像診断：CT、MRI 画像の所見と意義
4. 腰椎椎間板ヘルニアの病態と治療
 - 1) 急性腰痛症の鑑別診断の重要性：腫瘍、感染、外傷の鑑別の重要性
5. 腰部脊柱管狭窄症の病態と治療
 - 1) 間欠跛行の鑑別診断：閉塞性動脈硬化症との鑑別
6. その他の腰椎疾患の病態と治療
 - 1) 腰椎すべり症（分離症・変性すべり症）
 - 2) 変形性脊椎症
 - 3) 急性腰痛症
 - 4) その他（強直性脊椎炎、強直性脊椎骨増殖症 その他）

国家試験項目分類：総論Ⅷ1-A-5,1-B-4.6-K-8,6-K-9 各論Ⅸ7-A

講義予定日時 平成 25 年 5 月 28 日 1 時限

講義担当者：山崎 健

講義タイトル 脊柱変形の病態と治療

目標：脊柱変形の各種病態の理解、特に小児期においては先天性側弯症、症候群性側弯症、特発性側弯症の病態と治療（装具療法、手術療法）の理解、また成人期においては変性疾患、骨粗鬆症と脊柱変形（特に後弯症）の関連を学び、その治療法について理解する。

必要な予備知識

1. 脊柱の機能解剖、生理的弯曲
2. 脊柱の構造と機能
3. 脊柱と脊髄および神経根の関係

講義内容

1. 脊椎側弯症の分類：先天性、症候群性、特発性側弯症の分類・病態と治療
 - 1) 診察法：視診、前屈テスト
 - 2) 画像検査：コブ角、リッサーサイン
 - 3) 装具療法：ミルウォーキー装具、アンダーアーム装具の適応と限界
 - 4) 手術療法：矯正の理論と実際、インストゥルメンテーション手術の概念
2. 特発性側弯症の分類・病態と治療：
 - 1) 乳幼児、若年期、思春期、成人側弯症
 - 2) 特に思春期特発性側弯症の装具療法および手術療法：進行予測因子
3. 骨粗鬆症による脊柱変形：病態、診断、治療法
4. 脊柱後弯症の分類と治療：後弯症をきたす疾患の鑑別診断

国家試験項目分類：各論Ⅸ7-A

講義予定日時 平成 25 年 5 月 28 日 2 時限

講義担当者：田島 育郎

講義タイトル： 骨端症、小児整形疾患・先天異常

目標： 小児股関節疾患について病態、症状、診断、治療について鑑別しながら説明できる。小児骨端症について理解する。先天性疾患について病態、症状、診断を説明できる

必要な予備知識：

1. 股関節の構造と働き：構造と筋肉の名称
2. 小児の股関節疾患：種類と鑑別
3. 小児先天性疾患の体型の特徴
4. 跛行の種類

講義内容：

1. 股関節の構造と働き
 - 1) 構造
 - 2) 筋肉と働き
2. 小児の股関節疾患
 - 1) 発育性股関節脱臼：原因、症状、所見、治療
 - 2) 大腿骨頭すべり症：原因、症状、所見、治療
 - 3) ペルテス病：原因、症状、所見、治療
 - 4) 化膿性股関節炎：原因、症状、所見、治療
3. 骨端症
 - 1) 第 1 ケーラー病、第 2 ケーラー病：原因、症状、所見、治療
 - 2) 踵骨骨端症：原因、症状、所見、治療
 - 3) Freiberg 病：原因、症状、所見、治療
4. 先天性疾患
 - 1) 大理石病：原因、症状、所見、治療
 - 2) 軟骨無形性症：原因、症状、所見、治療
 - 3) 骨形成不全症：原因、症状、所見、治療
 - 4) 先天性多発関節拘縮症：原因、症状、所見、治療
 - 5) 脊椎骨端異型性症：原因、症状、所見、治療
 - 6) 先天性下腿偽関節症：原因、症状、所見、治療

国家試験項目分類：必修IXN-1～7、各論IX3-F,7-B,8-D,11-D

講義予定日時 平成 25 年 5 月 30 日 3 時限

講義担当者：古町 克郎

コアカリコード 4131D040405 4131D040401 4131D040409

目標 手・手関節の外傷・疾患について発症機序、臨床像、治療法を理解する

必要な予備知識

関節の構成要素

骨・関節の名称

関節運動の表記法

末梢神経の構造と機能

講義内容

正常な手・手関節の構造・神経支配

主な疾患の症候学

主な疾患の予後と合併症

主な疾患の手術とその他の治療法

手・手関節の構造と機能と診察法

主な疾患（外傷性と非外傷性）の解説

Minimum requirement

手関節 舟状骨 TFCC 正中神経 尺骨神経 橈骨神経 絞扼性神経障害 手根管症候群 肘部管症候群 末梢神経伝導速度 潜時

講義予定日時 平成 25 年 5 月 31 日 1 時限

講義担当者：古町 克郎

講義タイトル：肘関節・前腕の外傷・疾患

コアカリコード 4131D040405 4131D040401 4131D040409

目標 肘関節・前腕の外傷・疾患について発症機序、臨床像、治療法を理解する

必要な予備知識

関節の構成要素

骨・関節の名称

関節運動の表記法

講義内容

正常な肘関節・前腕の構造。神経支配

主な疾患の症候学

主な疾患の予後と合併症

主な疾患の手術とその他の治療法

肘関節・前腕の構造と機能と診察法

主な疾患（外傷性と非外傷性）の解説

Minimum requirements

腕橈関節 腕尺関節 橈尺関節 橈骨遠位端骨折 上腕骨顆上骨折 合併症 フォルクマン拘縮 内反肘

講義予定日時 平成 25 年 6 月 4 日 1 時限

講義担当者：一戸 貞文

講義タイトル 膝関節・下腿の疾患・外傷

目標 膝関節の変性疾患である変形性膝関節症について鑑別疾患と比較しながら疫学・病理所見・臨床像・治療法を説明できる。また膝関節周辺の骨折について分類・臨床像・治療・合併症を理解する。

必要な予備知識

1. 膝関節の解剖（骨、軟骨、半月板、靭帯、主動作筋）
2. 骨・軟骨の代謝
3. 跛行の種類
4. 骨折の治癒機転

講義内容

1. 膝関節の正常解剖 p610-615
2. 変形性関節症の概念 p639-652
3. 臨床症状と診断の進め方
4. 鑑別疾患の病態、臨床像
 - 1) 関節リウマチ
 - 2) 特発性膝骨壊死 p644
 - 3) シャルコー関節 p646
 - 4) 血友病性関節症 p649
 - 5) 偽痛風 p260
5. 変形性膝関節症の病期分類 p641
6. 変形性膝関節症の治療
 - 1) 保存療法
 - 2) 手術療法
8. 膝関節捻挫 p629
9. 骨折の定義と分類 p684-704,p760-767
 - 1) 大腿骨顆上骨折
 - 2) 大腿骨顆部骨折
 - 3) 膝蓋骨骨折
 - 4) 脛骨顆間隆起骨折
 - 5) 脛骨顆部骨折
 - 6) 下腿骨折
10. 膝関節脱臼 p763

頁は標準整形外科 11 版ページ

国家試験項目分類：必修 12-I-14 12-I-15、総論Ⅲ8-F-3、IX10-F-7 各論IX8-E、IX8-G、IX8-H、8-I、IX10-C、IX10-H XI2-C

講義予定日時 平成 25 年 6 月 4 日 2 時限

講義担当者：一戸 貞文

講義タイトル 膝関節・下腿の疾患・外傷

目標 足部変形の重要な疾患である先天性内反足について、疫学、病理、臨床像、治療について理解する。足関節の変性疾患である変形性足関節症について鑑別疾患と比較しながら疫学・病理所見・臨床像・治療法を説明できる。また足関節周辺の骨折について分類・臨床像・治療・合併症を理解する。

必要な予備知識

1. 足関節・足部の解剖（骨、軟骨、半靭帯、主動作筋）
2. 骨・軟骨の代謝
3. 跛行の種類
4. 骨折の治癒機転

講義内容

1. 先天性内反足 p659-661
 - 1) 変形の病理
 - 2) 鑑別疾患として先天性垂直距骨、内転足
 - 3) 治療法
2. 外反母趾の臨床像と治療 p665-666
3. 変形性足関節症 p665
 - 1) 病態と臨床像
 - 2) 保存療法
 - 3) 手術療法
4. 足関節捻挫 p772
5. 足関節周囲骨折の病態、合併症、治療 p767-776
 - 1) 外果骨折、内果骨折、三果骨折
 - 2) 距骨骨折
 - 3) 舟状骨骨折

国家試験項目分類：必修 12-I-14 12-I-15、総論Ⅲ8-F-3、IX10-F-7 各論IX8-E、IX8-F、IX8-G、IX8-H、IX10-C、IX10-H

講義予定日時 平成 25 年 6 月 11 日 1 時限

講義担当者：西田 淳

講義タイトル： 骨腫瘍

目標；骨腫瘍の代表的疾患について、疫学と臨床像を覚え、画像所見と病理所見から診断ができるようになる。治療法と予後を理解する。

必要な予備知識；

1. 骨の解剖学的構造、特に長管骨の骨幹部、骨幹端部、骨端軟骨板部、骨端部の違い
2. 骨巨細胞腫、骨肉腫、軟骨肉腫、ユーイング肉腫の組織学的特徴。

講義内容：

総論

1. 骨腫瘍の診断
 - 1) 疫学：好発年齢、好発部位
 - 2) 症状：疼痛、病的骨折、骨外腫瘤形成
 - 3) 骨腫瘍の画像所見：病変の境界、溶骨性、造骨性、石灰化、骨膜反応
 - (ア) 正常な骨の画像所見
 - (イ) 良性腫瘍の画像所見：多くは境界明瞭
 - (ウ) 悪性腫瘍の画像所見：境界不明瞭で時に骨膜反応を伴う
 - 4) 代表的骨腫瘍の特徴的病理組織像
2. 骨腫瘍の治療
 - 1) 良性骨腫瘍の治療
 - (ア) 外科的療法
 - (イ) 補助療法
 - 2) 悪性骨腫瘍の治療
 - (ア) 外科的療法
 - (イ) 補助療法（化学療法、放射線療法）

各論

1. 良性骨腫瘍・腫瘍類似疾患
 - 1) 骨軟骨腫
 - 2) 内軟骨腫 1.
 - 3) 非骨化生線維腫
 - 4) 骨巨細胞腫
 - 5) 線維性骨異型性症
2. 悪性骨腫瘍
 - 1) 骨肉腫
 - 2) 軟骨肉腫
 - 3) ユーイング肉腫
 - 4) 脊索腫
 - 5) 癌骨転移

Minimum requirement:

骨巨細胞腫、骨肉腫、軟骨肉腫、ユーイング肉腫の診断と治療

講義予定日時 平成 25 年 6 月 11 日 2 時限

講義担当者：西田 淳

講義タイトル： 軟部腫瘍

目標；軟部腫瘍の代表的疾患について、疫学と臨床像を覚え、画像所見と病理所見から診断ができるようになる。治療法と予後を理解する。

必要な予備知識；

1. 軟部組織を構成する解剖学的構造：脂肪、横紋筋、平滑筋、腱、神経、血管、リンパ管、靭帯、関節包、滑膜
2. 脂肪腫、神経鞘腫、脂肪肉腫、悪性線維性組織球腫、横紋筋肉腫、滑膜肉腫の組織学的特徴

講義内容：

総論

1. 軟部腫瘍の診断
 - 1) 好発年齢、好発部位
 - 2) 症状：疼痛、神経障害、腫瘤形成
 - 3) 軟部腫瘍の画像所見：非特異的なことが多いが、サイズが多きい場合、悪性のことが多い
 - (ア) 神経鞘腫のエコー所見、MR 所見
 - (イ) 脂肪性腫瘍の CT 所見、MR 所見
 - (ウ) 悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫等の悪性腫瘍の画像所見
 - 4) 代表的軟部腫瘍の特徴的病理組織像
2. 軟部腫瘍の治療
 - 1) 良性軟部腫瘍の治療
 - (ア) 外科的療法
 - 2) 悪性軟部腫瘍の治療
 - (ア) 外科的療法
 - (イ) 補助療法(化学療法、放射線療法)

各論

1. 良性軟部腫瘍・腫瘍類似疾患
 - 1) 脂肪腫
 - 2) 色素性絨毛結節性滑膜炎
 - 3) 神経鞘腫
 - 4) 神経線維腫
 - 5) 血管腫
2. 悪性軟部腫瘍
 - 1) 脂肪肉腫
 - 2) 悪性線維性組織球腫
 - 3) 横紋筋肉腫、
 - 4) 平滑筋肉腫
 - 5) 神経肉腫
 - 6) 明細胞肉腫

Minimum requirement:

神経鞘腫、脂肪肉腫、悪性線維性組織球腫、横紋筋肉腫、ユーイング肉腫の診断と治療

講義予定日時 平成 25 年 6 月 13 日 3 時限

講義担当者：村上 秀樹

講義タイトル：頸椎疾患，脊椎・脊髄損傷

目標：頸椎疾患に伴う臨床症状と画像所見，理学所見について理解する．脊椎損傷の臨床症状，画像所見の特徴を理解し，それに伴う脊髄損傷の高位診断と治療方針決定への応用ができる．

必要な予備知識：

1. 頸椎疾患における鑑別診断
2. 頸髄症，神経根症の病因と診断
3. 脊椎損傷の画像所見の読影
4. 脊髄損傷の高位診断

講義内容：

1. 頸椎疾患
 - 1) 病因，病態
 - 2) 臨床症状
 - 3) 画像診断
2. 頸髄症・神経根症
 - 1) 病因・病態
 - 2) 臨床症状
 - 3) 理学所見
 - 4) 画像所見
 - 5) 治療
3. 脊椎損傷
 - 1) 損傷高位での特徴
 - 2) 臨床症状
 - 3) 画像所見
4. 脊髄損傷
 - 1) 高位診断
 - 2) 画像所見
 - 3) 治療

標準整形外科 第 11 版 P482-501, 789-809

講義予定日時 平成 25 年 6 月 13 日 4 時限

講義担当者：村上 秀樹

講義タイトル：感染性脊椎炎，脊椎・脊髄腫瘍

目標：感染性脊椎炎について理解する。脊椎・脊髄腫瘍について理解し、説明できる。

必要な予備知識

- 1.感染性脊椎炎の病因，病態，臨床症状，画像所見，治療法
- 2.脊椎腫瘍の鑑別診断（原発性，転移性）と画像診断
- 3.脊髄腫瘍の鑑別診断

講義内容

- 1.感染性脊椎炎
 - 1) 病因，病態
 - 2) 臨床症状
 - 3) 画像所見
 - 4) 治療法
2. 脊椎腫瘍
 - 1) 臨床症状
 - 2) 鑑別診断（原発性，転移性）
 - 3) 画像診断
3. 脊髄腫瘍
 - 1) 臨床症状
 - 2) 鑑別診断

標準整形外科 第 11 版 P220-221, 542-544, 546-555

講義予定日時 平成 25 年 6 月 14 日 1 時限

講義担当者：田島 吾郎

講義タイトル：スポーツ障害・外傷 総論

目標：スポーツにより発生する整形外科疾患、特に四肢の障害・外傷について、運動生理学や解剖学をふまえ、その発症のメカニズムや病態について理解する。

必要な予備知識：

1. 筋の運動生理の基本的知識
2. 四肢の骨・筋・腱、関節の構造などの基本的な解剖学的知識

講義内容：

1. スポーツ障害と外傷の違い
2. トレーニング理論
3. スポーツ障害・外傷の発生のメカニズムと背景因子 (over use syndrome)
4. スポーツ障害・外傷の特性
5. スポーツ障害の重症度と対策
6. スポーツ障害・外傷の組織別分類
7. スポーツ障害・外傷の救急処置

Minimum requirement:

過負荷、超回復、over use syndrome、運動連鎖、アスレチックリハビリテーション、RICE 処置、肉離れ、疲労骨折

講義予定日時 平成 25 年 6 月 14 日 2 時限

講義担当者：田島 吾郎

講義タイトル：スポーツ障害・外傷 各論

目標：上肢・下肢のスポーツ障害・外傷について、疾患別に発症のメカニズム、病態、診断（理学的所見、単純 X 線像・MRI などの画像診断）、治療、予防などについて説明できる。

必要な予備知識：

1. 四肢の骨・筋・腱、関節の構造などの基本的な解剖学的知識
2. 代表的なスポーツ障害・外傷の基本的な知識
- 3.

講義内容：

- 1 上肢のスポーツ障害・外傷の病態、診断、治療、予防
 - 1) 肩関節・上腕
投球肩障害、肩関節脱臼、投球骨折
 - 2) 肘関節・前腕
投球肘障害、上腕骨外上顆炎（テニス肘）
- 2 下肢のスポーツ障害・外傷の病態、診断、治療、予防
 - 1) 股関節
骨盤部の裂離骨折・疲労骨折
 - 2) 膝関節
オスグッド病、有痛性分裂膝蓋骨、ジャンパー膝、腸脛靭帯炎、前十字靭帯損傷、後十字靭帯損傷、内側側副靭帯損傷、半月板損傷、離断性骨軟骨炎
 - 3) 下腿
過労性脛骨部痛（シンスプリント）、脛骨疲労骨折、アキレス腱損傷
 - 4) 足関節・足
衝突性外骨腫、足関節捻挫（靭帯損傷）

Minimum requirement:

外在筋（outer muscle）、内在筋（inner muscle）、骨端線離開、裂離骨折、骨端症、腱付着部炎、関節血症、膝崩れ（giving way）、Knee in toe out、ラックマンテスト、軸移動テスト、ロッキング症状、マクマレーテスト

講義予定日時 平成 25 年 6 月 18 日 1 時限

講義担当者：西田 淳

講義タイトル： 肩甲骨・肩関節・上腕の疾患・外傷

目標；肩・上腕に発生する代表的疾患について、発症機序を理解し、疫学と臨床像を覚え、理学所見、画像所見から診断ができるようになり、治療法を理解する。

必要な予備知識；

1. 肩・上腕を構成する骨・関節・靭帯：鎖骨、肩甲骨、上腕骨、肩関節、肩峰下滑液包、腕、烏口肩峰靭帯、烏口鎖骨靭帯、肩鎖靭帯、烏口上腕靭帯
2. 肩・上腕を構成する筋：僧帽筋、広背筋、大胸筋、小胸筋、回旋筋腱板、大円筋、上腕三頭筋、上腕二頭筋、烏口腕筋、三角筋
1. 肩・上腕近傍にある神経血管：腕神経叢、鎖骨下動静脈、上腕動脈

講義内容：

総論

1. 肩・上腕の解剖
 - 1) 肩峰、烏口肩峰靭帯と回旋筋腱板との関係
 - 2) 回線筋腱板を構成する筋
 - 3) 肩甲骨関節窩と上腕骨頭との関係

各論

1. 肩峰下衝突症候群
2. 回線筋腱板損傷
3. 上腕二頭筋長頭腱炎
4. 石灰沈着性腱板炎
5. 肩関節周囲炎
6. 反復性肩関節脱臼・亜脱臼
7. 動揺肩
8. 鎖骨骨折
9. 上腕骨近位端骨折

Minimum requirement:

回線筋腱板損傷の発症機序、反復性肩関節脱臼の発症機序(Bankart lesion、Hill-Sachs Lesion)

講義予定日時 平成 25 年 6 月 18 日 2 時限

講義担当者：青木 裕

講義タイトル：骨盤・股関節・大腿の疾患・外傷

目標： 成人の骨盤・股関節・大腿の疾患・外傷について、疫学、発症機序、臨床所見、治療法、予後の違いを理解する。

必要な予備知識：

1. 股関節の構造と働き：構造と筋肉の名称
2. 成人の股関節疾患：種類と鑑別
3. 骨盤の骨折：種類と治療
4. 股関節部の脱臼と骨折：種類と治療

講義内容：

1. 股関節の構造と働き
 - 1) 構造
 - 2) 筋肉と働き
2. 成人の股関節疾患
 - 1) 変形性股関節症：原因、症状、所見、治療
 - 2) 大腿骨頭壊死症：原因、症状、所見、治療
 - 3) 深部静脈血栓症、急速破壊型股関節症について
3. 骨盤の骨折
 - 1) 骨盤輪の骨折：分類・種類、合併症
 - 2) 寛骨臼の骨折：分類、治療、合併症
4. 股関節部の脱臼と骨折
 - 1) 外傷性股関節脱臼と脱臼骨折：分類、治療
 - 2) 大腿骨近位部骨折：疫学、分類、治療

講義予定日時 平成 25 年 6 月 21 日 1 時限

講義担当者：安藤 貴信

講義タイトル：関節リウマチと類似疾患

目標：関節炎を起こす代表的疾患の特徴を理解し、鑑別ができるようになる。
治療法を理解する。

必要な予備知識

四肢の骨・関節の構造などの基本的な解剖学的知識
膠原病の種類と基本的な知識

講義内容

1. 関節リウマチとその類似疾患の概要・病理・病態・症状・検査・診断・治療・予後
 - 1) 関節リウマチ p229-244
 - 2) 血清反応陰性脊椎関節炎 p247-251
2. 慢性関節疾患
 - (ア) 痛風
 - (イ) 偽痛風

頁は標準整形外科 11 版

医師国家試験出題基準

- 1 (ア)：医学各論IX-8-H 滑膜炎、関節炎（小項目：関節リウマチ）
- 1 (イ)：医学各論IX-7-A 脊椎・脊髄疾患（小項目：強直性脊椎炎）
医学各論XI-2-C 関節炎を主とする類縁疾患（小項目：乾癬性関節炎）
- 2 (ア) (イ)：医学各論IX-8-H 滑膜炎、関節炎（小項目：痛風、偽痛風）

講義予定日時 平成 25 年 6 月 21 日 2 時限

講義担当者：田島 克巳

講義タイトル：代謝性骨疾患、感染性疾患

目標：代表的な代謝性骨疾患の病態、症状、治療を理解し説明できる。

軟部組織・骨・関節の感染症の病態、症状を理解し、適切な診断と対処ができるようになる。

必要な予備知識

四肢の骨・関節の構造などの基本的な解剖学的知識

講義内容

1.代謝性骨疾患

1)骨粗鬆症の概念・成因・検査・診断・合併症・治療 p314-322

2)くる病・骨軟化症の概念・成因・検査・診断・治療 p322-327

2. 軟部組織・骨・関節の感染症の病態・病理・症状・診断・治療・予後

1)壊死性筋膜炎 p211-213

2)ガス壊疽 p213-214

3)破傷風 p214

4)化膿性腱鞘滑膜炎 p214

5)化膿性骨髄炎 p216-220

6)化膿性脊椎炎 p220-221,542-544

7)化膿性関節炎 p221-223

8)結核性骨関節炎 p224-226,544

頁は標準整形外科 11 版

医師国家試験出題基準

1 (ア) (イ)：医学各論Ⅸ-7-C 代謝性骨疾患（小項目：骨粗鬆症、くる病・骨軟化症）

2 (ア) (イ)：医学各論Ⅲ-3-J 細菌感染症（小項目：壊死性筋膜炎、ガス壊疽）

2 (ウ)：医学各論Ⅶ-3-A 細菌（小項目：破傷風）

2 (オ)～(ク)：医学各論Ⅸ-3-F 骨・関節感染症